



人口と世帯		●住民基本台帳記録数(前月比)	
人口	183,918		(-9)
男	91,522		(-20)
女	92,396		(+11)
世帯	92,241		(+38)

令和2年
3月1日現在

新編立川市史 新刊のお知らせ

平成27年度から開始した新編立川市史事業(立川の歴史を調査、刊行物の編集発行)では、新刊を発行しました。

4月1日(水)から市役所市政情報コーナー(3階)、歴史民俗資料館、オリオン書房ノルテ店、ジュンク堂書店立川高島屋店で販売します。

問地域文化課市史編さん担当・内線4044



『新編立川市史 資料編 古代・中世』

B5判、上製本、価格2,500円

奈良時代以前から戦国時代までの立川市域に関わる文献・金石文資料が対象。中世立川氏の末裔が伝えた古文書(立川文書)を中心に、立川郷周辺地域の領主や西党日奉氏一族に関する資料を収録。また、玄武山普濟寺に関する新たな資料もあり、立川の原型となる集落の起源に迫りながら、当時の人々の生活を捉えています。



『新編立川市史 資料編 現代1』

B5判、上製本、価格2,500円

敗戦から立川と砂川の合併までの18年間の流れを追った5つの章で構成。市の所蔵する公文書類をはじめ地域組織の文書や米国公文書など、幅広い資料を収録。敗戦と米軍の進駐で生じた地域の混乱や、地域社会の民主化の諸相、基地問題の発生と砂川闘争の展開、都市化と合併に至る過程などを取り上げています。



『新編立川市史 資料編 柴崎の民俗』

B5判、上製本、価格2,500円

柴崎地区(富士見町、柴崎町、錦町、羽衣町、曙町、高松町、緑町)は明治時代以降、駅や飛行場の設置に伴って急激な都市化が進みました。本書は、時代とともに変化していく環境を背景に、地域の人々によって支えられ受け継がれてきた文化や様式を、聞き取り調査など民俗学的な手法によって明らかにします。



既刊

- 地図・絵図(DVD付き) 価格3,000円
- 先史編 1 向郷遺跡 竹内勇貴氏寄贈資料調査報告書 価格1,000円
- 民俗・地誌編 1 砂川青年団資料集 価格1,500円
- 近世編 1 鈴木家文書目録 価格1,000円



今後の刊行予定

年度	刊行物
令和2	「資料編 近世1」「資料編 近代2」
3	「資料編 先史」「資料編 現代2」「資料編 砂川の民俗」
4	「資料編 近世2」「資料編 近代1」「資料編 写真集」
5	「本編 通史」上・下
6	「別編 近代テーマ編」「別編 現代テーマ編」「別編 民俗・地誌編」「普及版」

《広告欄》